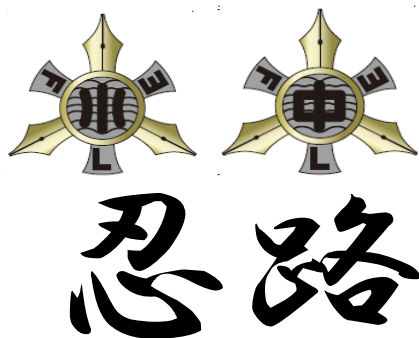




教 育 目 標

かしこく
やさしく
たくましく

令和8年9月30日
忍路中央小学校
忍路中学校
学校だより6号
本庄 有希子



忍路小中HP <https://www.otaru.ed.jp/osyoro-psjh/>

「結果」だけでなく「あゆみ」をみつめる

校長 本庄 有希子

朝夕の風に涼しさが感じられ、校庭の木々も少しずつ秋の装いを見せる季節となりました。さて、本校では昨年度の小学校に続き、今年度からは中学校でも、これまで各学期末にお渡ししていた通知表を、前期（9、10月）・後期（3月）の年2回の発行となりました。したがって、小学校は本日、中学校は明日、今年度最初となる通知表（あゆみ）をお渡しすることになります。

ここで、「鉄腕アトム」などで知られる漫画の神様、手塚治虫さんの子ども時代の通知表のお話を紹介します。手塚さんの小学生時代の通知表の所見欄には、「落ち着きがありません」「授業をしっかりと受けず、絵ばかり描いています」といった厳しい指摘が並んでいたそうです。もし当時の大人がその「評価」だけを見て絵を描くことをやめさせていたら、世界を感動させた数々の名作はこの世に生まれなかったかもしれません。評価というものは、その人の「すべて」や「未来」を決めるものではなく、「その時点での一つの切り口」に過ぎないということを、この話は教えてくれます。

年2回の発行にしたことにより、これまでに比べて評価の期間が長くなりました。これは、日々の子どもたちの変化や努力をより長いスパンで丁寧に見つめ、授業や指導の改善にしっかりと活かすための工夫です。

通知表を開くとき、どうしても目がいきがちなのは数字や評価の結果かもしれませんが、本当に大切なのはその数値の背景にある「成長の様子」や「まだ隠れている可能性」です。本校は、小学生8名、中学生18名という非常に小さな学校です。しかし、この「小ささ」こそが本校の最大の強みです。教職員全員が全校児童生徒26名一人ひとりの日々の表情、得意なこと、一見評価の数字には表れにくい小さな頑張りや、一生懸命に壁を乗り越えようとした瞬間をすべて把握しています。

○授業で自分の考えを自分の言葉で伝えた瞬間

○行事の中で小学生の手を優しく引く中学生の頼もしい姿

○何度間違えてもあきらめずに問題に向き合った姿

通知表に記された文字や評価は、こうした日々の挑戦の「通過点」を切り取ったものに過ぎません。



ご家庭に通知表が届きましたら、ぜひ結果の数値や○の位置だけを見るのではなく、「一番頑張ったことは何?」「自分が夢中になれたことは何?」と、お子様の頑張りを褒めてあげてください。私たち教職員も一人ひとりの声にじっくりと耳を傾け、子どもたちの努力や得意な部分を存分に認め、次の歩みに向けた温かい励ましを届けていきます。

子どもたちは、大人からの「見守られている安心感」と「自分の個性を認められる喜び」をエネルギーにして大きく伸びていきます。ご家庭と学校が手を携え、同じ眼差しで子どもたちの「伸びゆく姿」を見守っていけたらと思っております。

小中 余市紅志高等学校訪問

9月11日(金)にふるさとキャリア教育の一環として、農業科のある余市紅志高等学校とご縁をいただき、全校児童・生徒で訪問しました。

始めに余市紅志高等学校の特色ある教育活動について説明を聞き、校舎を見学しました。その後、農場やワイナリーを見学しました。ワイナリーでは、ワインブドウを試食し、「房の下が甘いブドウは全体が甘いこと」や「ワインブドウの糖度の高さ」などについて学ぶことができ、大変貴重な学習となりました。



地域公開参観日・CS防災訓練

9月18日(金)に地域公開参加日とCS防災訓練が行われました。1・2時間目の授業公開では、中学3年生が小学生へポップづくりの授業を行いました。3・4時間目には、小樽市災害対策室の安藤さんを講師に忍路・蘭島地区で起きる災害と対策について映像や「坂のまち防災対策ゲーム」を活用して学びました。4時間目には、段ボールベット2種類を制作する体験も行い、自助・共助・公助について学びました。



中学校 ふるさとキャリア教育

9月16日(水)になまらファームを訪問し、渡邊充康さんを講師に、中学生を対象としたふるさとキャリア教育が行われました。

忍路地区で生産しているトマトの種類と特徴、栽培や収穫の仕方、トマトを販売するために取り組んでいることや工夫していることなどについて講話を聞いたり、実際にトマトを試食したりすることを通して職業観や勤労観を深めることができました。また、ふるさと忍路の農業や働くことの大切さについて改めて学ぶことができました。



文化庁舞台芸術等総合実践事業

9月7日(月)に文化庁舞台芸術等総合実践事業による事前ワークショップが体育館で行われました。公益社団法人「観世九草会」の方が3名来校し、始めにテキストを用いて能楽の歴史や概要などについて学んだり、能「土蜘蛛」のあらすじを紙芝居形式で視聴したりしました。

その後、全員で「土蜘蛛」の一節を謡い、舞の基本となる「身体の構え」と「足の運び(すり足)」を体験しました。

本公演は10月27日(火)、10時20分から
体育館にて実施いたします。
保護者・地域の皆様もご観覧できます。トップレベルの方による巡回公演をぜひ見にいらしてください。



小学校 フットパス

9月4日(金)に5・6年生がフットパスを行いました。北海道ボランティア・レンジャー協議会の北嶋さんと美波さんを講師に忍路や蘭島地区に生息する植物について学んだり、遺跡や歴史的建造物を見たりしながら、3時間かけて歩きました。秋の植物をたくさん見つけることができました。



小中 ソフトボール大会

9月28日(月)の1・2校時に小学校と中学校の合同体育が行われました。今回は、ソフトボール大会を実施しました。3アウトではなく、打者が1巡でチェンジをするなど、小学校1年生から中学校3年生までが楽しく試合をすることができるようルールを工夫して行われました。



中学校 蘭島保育園体験学習

9月29日(火)に3年生が蘭島保育園を訪問し、園児と触れ合う体験学習をしました。ボールや魚つりなど、手作りフェルトのおもちゃを使って遊んだり、一緒にダンスを踊ったりすることを通して、保育の大切さや大変さについて学びました。また、自分たちが成長した姿を保育園の先生方に見ていただく、貴重な機会となりました。

小中発表会があります

10月10日(土)(8時45分開始、11時20分終了予定)に忍路小中学校体育館にて小中発表会を開催します。旅行的行事で学んだことや全校合唱、器楽演奏など日々の学習の成果を保護者や地域の皆様にご覧いただきたいと思います。皆様のご来校をお待ちしております。